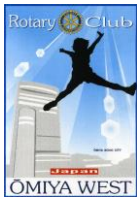


ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2022-23 年度 大宮西ロータリークラブ 週報

創 立：1963年 3 月 22 日

例会場：パレスホテル大宮

例会日：月曜日 12:30～13:30

会 長 小沢 孝

幹 事 榎本 貞寿

クラブ会報委員会 小岩 淳一

第2766例会

発行日



2023/02/27

2023/03/06

会長挨拶

IMAGINE
ROTARY

イマジンロータリー



会長 小沢 孝

皆さんこんにちは。

国際ロータリー第 2570 地区・第 2770 地区 2023-24 年度派遣ロータリー財団奨学生候補生の合同オリエンテーションが、川越（ウエスタ川越）にて、昨日、2/26（日）に行われました。当クラブ推薦の森田悠介さんも Zoom でドイツから参加いたしました。

4 名の奨学候補生が各 20 分ほどの自己紹介をし、その後、学友会顧問の 2 名から候補生に向けてアドバイスとしてお話がありました。

2570 地区学友顧問 手塚 隆司さんからは、「自己紹介では聞き手を意識すること。他の奨学金とは違いロータリーの奨学金であることの重要性を理解すること。日本に帰ったらどのような活動をしたか、またどのようなことを伝えたいか。どんなメリットがありどんな期待があるのかを意識していただきたい。以前はロータリー財団国際親善奨学生という肩書であったが今も内容は変わってないことを理解していただきたい。推薦クラブの関わりを深めてクラブの良い活動を周りの方に伝えてください」といったアドバイスがありました。以上が昨日のオリエンテーションの様態です。

本日は、職業奉仕担当例会として石坂産業株式会社 執行役員 友國 裕弘様の卓話です。一時はダイオキシン問題での倒産の危機を乗り越え、ピンチをチャンスに変えた企業と察しております。どのような職業奉仕がそこにはあったのか、お聞きしたいです。

先週、北清治 PG も、ロータリーにおける職業奉仕の重要性についてお話していただきました。

本日はよろしくお願ひいたします。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

冷牟田 正見 会員



お客様紹介・米山記念奨学生紹介

■石坂産業株式会社 執行役員

友國 裕弘 様

■2022 学年度米山記念奨学生

グエンティガンさん

（ご紹介：会長エレクト 藤嶋 剛史）



幹事報告

幹事 榎本 貞寿

①地区危機管理会よりトルコ・シリア大地震救援募金活動ご協力のお願ひが来ております。被災民支援や、復興支援に役立つようご協力の依頼です。本日封筒を用意いたしましたのでご協力よろしくお願ひ致します。締切は 3/20

（月）ですので宜しくお願ひ致します。

②会長エレクト研修セミナーが 3/13（月）14（火）、ソニックシティで行われます。藤嶋エレクトはご予約をお願ひ致します。

③大宮駅西口 そごう前の、故障中の時計が撤去されました。

④ 5/29（月）の例会は会場と時間が変更になります。北与野 ステラ・デル・アンジェロにて米山奨学生の歓迎夜間例会となります。詳細は後日お知らせいたしますが、予定の変更のご確認宜しくお願ひ致します。



60 周年 新たな奉仕活動へ ～すべては好奇心から始めよう～

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4 階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail：west@rc-omiya-west.com HP：http://rc-omiya-west.com/



委員長報告・地区派遣役員報告

■地区プライダル委員会 委員 岡部 勉



昨日 2/26 (日)、婚活イベント「再婚さんいらっしゃい」が無事行われました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。6/3 (土)には、バーベキュー婚活イベントを開催予定です。そちらもよろしく願いいたします。

米山功労法人 感謝状授与

■万寿長園株式会社 増永 裕樹 会員



卓 話

石坂産業株式会社 執行役員
友國 裕弘 様

Sustainability (持続可能) から
Regeneration (再生) へ



ご紹介

■職業奉仕委員会 委員長 増永 裕樹

本日は SDGs 企画です。産業廃棄物処理を手掛けられている石坂産業の、友國様に卓話をお願いしました。会員の皆様の産廃処理のイメージは？ 山奥で処理しているイメージではないでしょうか。それが驚くことに、IT を導入した高度に制御された工場で資源を回収されているのです。また周りは森です。昔からあったのではなく、荒地に手を入れ保護し森を育て、レクリエーション施設を作ったのです。感銘をうけました。石坂産業は、ビジネスとして成り立たせ地域とも共生する、日本の数少ない企業だと思います。

友國 裕弘様 ご経歴

大阪府生まれ。大阪府立大学工学部卒業後、大阪府庁入庁。主に流域下水道建設に従事。外務省への派遣で1995年APEC大阪会議を支援。海外派遣研修でカリフォルニア大学バークレー校に短期留学。

国際ロータリー財団 1997-98 年度国際親善奨学生 (2660 地区、ホスト豊中 RC) として米アリゾナ州サンダーバード国際経営大学院 国際経営学修士課程を最優等で修了。日本 NCR 株式会社 執行役員、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構 理事など官民の役職を経て、石坂産業株式会社入社。戦略業務担当執行役員として、DX、エネルギー、脱炭素、コーポレートブランディングを推進。

IMAGINE ROTARY

イマジンロータリー



石坂産業は、創業 56 周年を迎える産業廃棄物の中間処理会社です。

SDGs という言葉のない時代から、「どこかの企業の廃棄物をどこかの企業の資源にする」活動を続けてきました。今は、環境教育や有機農業も行っています。

主に扱うのは、世界ではほとんどが埋め立てされている建設系廃棄物です。その再資源化に取り組み、減量化・再資源化率98%を達成しています。

「Zero Waste Design」が必要な理由
世界人口の増加とともに廃棄物が加速度的に増え、2050 年には現在の 2 倍の廃棄物が地球を覆うと予測されているからです。

日本の循環利用率 (再利用・再生利用率) はわずか 16%。枯渇性資源を掘り尽くすのではなく、既に地表にあるものを繰り返し利用して、廃棄物を残さないように循環させること。それを誰かがやらなければならないのです。

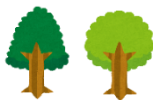


近年、直線型から、循環型の経済にしていこうという流れが加速しています。モノは消費され、いつか不要になる。私たちは 20 年後、30 年後に向けてどんなモノを作り、どんなモノを残していくのか。廃棄されることを想定した「ゴミにならない素材開発・構造設計」が必要なのです。

Amazon と Global Optimism が立ち上げた 2040 年までにネットゼロカーボン（温室効果ガスの排出量実質ゼロ）の達成を目標とするアグレッシブな国際イニシアチブ The Climate Pledge（気候変動対策に関する誓約）に国内企業として最初に署名しました。

オール電化に近い工場の全電力も再生可能エネルギーに切り替え、さらに、太陽光や地中熱、雨水、風力など、あらゆる自然なものを利用して循環させることにも挑戦しています。

Sustainability（持続可能）に留まらず、Regeneration（再生）させて、未来の世代に今よりも良い地球環境を残したいと考えます。



石坂産業ビジョン動画

<https://ishizaka-group.co.jp/vision/vision>

三富今昔村

<https://santome-community.com/>

The Climate Pledge 紹介および動画
(英語、2022 年 11 月)

<https://www.theclimatepledge.com/us/en/Stories/ishizaka-on-the-future-we-must-create>

The Climate Pledge 日本語再構成版
(日経ビジネス電子版企画広告、2023 年 2 月)

<https://special.nikkeibp.co.jp/atclh/ONB/23/amazon0217/>

専務講演 動画

(AWS サミット、2022 年 5 月)
(16 分頃から 12 分間)

<https://www.youtube.com/watch?v=XtOdhFcKN-I>

石坂産業の姿勢から学ぶ見学レポート

(Less is More. by info Mart Corp.、2022 年 7 月)

前編 [工場編]

<https://note-infomart.jp/n/n91ef21643ab0>

後編 [里山編]

<https://note-infomart.jp/n/n242e2bad1305>

国際親善奨学生としての留学経験を振り返って
(豊中 RC、2012 年 6 月)

<http://www.sun->

<inet.or.jp/~jtrc2660/pdf/tomokuni.pdf>

ロサンゼルス学友祝賀行事報告

(ロータリーの友、2008 年 8 月号、原稿)

<https://ishizaka->

<group.box.com/s/tdryx1xcfp1wjwrt952o1ez7lmem0eky>

